

愛知県立高等学校の現状と課題

1	高等学校教育をめぐる現状	P 1
2	愛知県立高等学校の現状と課題	P 2
3	生徒の個性・能力を大きく伸ばす学校づくり	P 3
4	中高一貫教育の現状と課題	P 4
5	職業学科（職業教育）の現状について	P 5
6	総合学科の設置について	P 6
7	普通科のコースについて	P 7
8	不登校生徒や外国人生徒への対応について	P 8
9	愛知県と他都道府県の特徴ある高等学校の設置状況	P 9

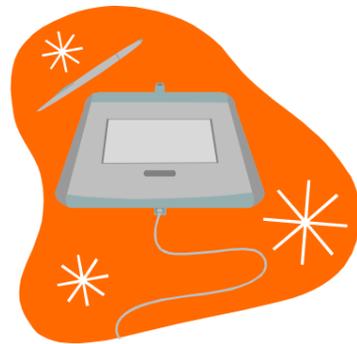
高等学校教育をめぐる現状

急速に進展する高度情報化やグローバル化が社会・産業・経済に構造的変化をもたらし、社会環境が激しく変化している。
生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等の多様化が進んでおり、多様な学習ニーズに応じたきめ細やかな対応が求められている。
キャリア教育・職業教育の充実、グローバル人材の育成、ICTの活用など、さまざまな対応が求められている。

1 社会の急激な変化

地球規模の情報技術革新に起因する高度情報化やグローバル化は、日本の社会・産業・経済に構造的変化をもたらした。世界的な経済状況の悪化、今後到来する超高齢化社会など、私たちを取り巻く社会環境の変化は激しく、先が見通せない状況にある。

また、終身雇用・年功序列といった横並びの雇用慣行が変容しつつあり、若年者の失業率・非正規雇用の割合が増加するなど、雇用情勢は厳しさを増している。



2 生徒の変化

高等学校への進学率は9割を超え、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等の多様化が進んでいる。

高校生の学力・学習状況については、特に学力中位層の学習時間の減少とともに、基礎学力の不足や学習意欲の面での課題が指摘されている。また、一部の高等学校においては、義務教育段階での学習内容を十分に身に付けていない者も少なからず見られる。

3 多様な学習ニーズへのきめ細やかな対応

若者の社会的・職業的自立や、生涯にわたるキャリア形成を支援するため、キャリア教育や職業教育を充実していくことが強く求められる。

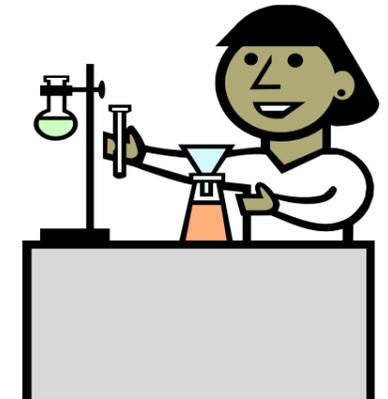
社会全体の変化に対応し新たな価値を主導・創造する人材を育成することは重要であり、意欲と能力のある生徒に対して、ハイレベルな学習機会や切磋琢磨する場をより一層確保することが求められる。

日本人としてのアイデンティティや日本の歴史と文化に対する深い教養を前提として、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けて様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成することが求められる。

ICTや様々なメディアを活用することにより、生徒の多様な質の高い学びを実現するために効果的な授業の在り方を検討することも必要である。

(「中教審初等中等教育分科会高等学校教育部会 審議のまとめ」(平成26年3月)より抜粋)

これからの特色ある高等学校づくり



愛知県立高等学校の現状と課題

本県では平成13年11月「県立高等学校再編整備基本計画」を発表し、これに基づいて総合学科の設置、普通科へのコース設置、専門学科での学科改編、中高一貫教育の推進、高校の適正な規模・配置など、「魅力と活力ある県立高等学校づくり」を行ってきたが、時代の変化に伴い、新たに以下の課題が生じている。

生徒の個性を一層伸ばす学校・学科づくりや、生徒の学習ニーズや進路希望に対応した学校・学科づくりが求められている。

新たなキャリア教育のあり方や、時代の変化に合わせた職業学科のあり方についての対応が求められている。

不登校生徒や日本語能力が十分身に付いていない外国人生徒などへの対応が求められている。

再編整備計画による取組状況

総合学科の設置

平成26年度現在、県立高校9校に総合学科を設置

普通科へのコース設置

平成26年度現在、県立高校23校に25コース（情報活用コース9校、国際理解コース4校など）を設置

専門学科の充実

平成14年度から平成22年度までに、32校の専門学科をもつ高等学校において学科改編を実施

平成28年度に愛知総合工科高校を開校予定

中高一貫教育の推進

平成16年度から北設楽地区で、平成22年度から作手地区において連携型中高一貫教育を開始

適正な規模・配置

適正な学校規模の確保（5組の再編統合）

特色ある教育活動

キャリア教育の推進

キャリア教育ノートの活用とインターンシップを推進するための「あいち夢はぐくみサポーター」制度の創設

理数教育の推進

国のスーパーサイエンスハイスクール事業などを活用し、次代を担う科学技術関係人材を育成

国際理解教育の推進

あいちグローバル人材育成事業により、語学力とともに異文化理解力を高め、グローバル人材を育成

時代の変化や生徒の ニーズを踏まえた 高等学校づくりの推進

県立高等学校におけるキャリア 教育・職業教育の一層の充実

学科改編やキャリア教育を支援するしくみづくり

グローバル社会や地域で 活躍できる人材の育成

理数、英語、芸術、スポーツ等が得意な生徒の個性伸長

魅力ある高等学校教育の充実

安全で快適な教育環境の整備

生徒のニーズを踏まえたさまざま なタイプの高等学校の適正な配置

不登校生徒や外国人生徒等への対応

大幅に生徒が減少する 地域における対応

生徒の個性・能力を大きく伸ばす学校づくり

本県では、理数教育、英語教育をはじめ、さまざまな分野で、より高度な知識・技能を身に付けた人材の育成に取り組んでいる。今後、わが国の各分野を牽引していくリーダーの育成を図るべく、生徒の個性・能力を最大限に伸ばす学校づくりが必要である。

理数

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）全国 204 校
 岡崎高校、一宮高校、時習館高校、明和高校、刈谷高校、豊田西高校、半田高校
 将来の国際的な科学技術系人材の育成を図る。
 あいち科学技術教育推進協議会
 発表会「科学三昧 in あいち 2013」【25 年度】669 名参加
 知の探究講座
 6 大学と連携し、高度な理数教育を受講【25 年度】6 大学に 165 名参加
 あいち科学の甲子園
 全国大会の本県代表を選抜するとともに科学の裾野を広げる。
 【全国大会結果】24年度岡崎高校 優勝 25年度一宮高校 4 位
 コスモサイエンスコース（3 校）
 瑞陵高校、春日井高校、岡崎北高校

【今後の方向性】

国は、高付加価値を生み出す科学技術系人材を戦略的かつ体系的に確保するため、理数好きな子どもの裾野を拡大し、才能を見出して、創造性を育み、伸ばすことを目指している。本県としても、この方向性を踏まえ、国の事業を活用するとともに、独自に教育委員会と地元の大学、研究機関、企業等との連携を促進して、グローバルな視点にもつ人材の育成を図る必要がある。

【参考】横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校（理数科）

平成 21 年に開校した「先端科学技術の知識を活用して、世界で幅広く活躍する人間の育成」を掲げる理数科高校。国から平成 22 年度に SSH、平成 26 年度に SGH の指定を受けた。

英語

スーパーグローバルハイスクール（SGH）全国 56 校
 旭丘高校
 国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る。
 あいちスーパーイングリッシュハブスクール（12 校）
 英語をコミュニケーションの道具として高いレベルで使いこなす人材の育成を図るため、先進的英語教育の拠点となる高等学校を指定
 国際教養科（3 校）
 千種高校、尾北高校、御津高校

【今後の方向性】

あいち国際戦略プランの「国際人材戦略」の方針を踏まえ、ハブスクールを中心にグローバル化に対応した新たな英語教育を進めることが必要である。

【参考】東京都立国際高校（国際学科）

平成元年に開校した「グローバルな視点に立った人間理解と国際理解を通じて心身共にバランスのとれた人間の育成」を掲げる国際学科高校。東京都教育委員会は、平成 25 年 3 月、国際バカロレア（IB）の認定取得を目指す学校に選定した。

芸術

音楽科 明和高校
 美術科 旭丘高校
 アートデザイン系列 岩倉総合高校
 芸術文化系列 豊田東高校

【今後の方向性】

生徒の多様なニーズに対応するため、芸術・スポーツに秀でた生徒の個性・能力の伸長を目指すための方策が必要である。

【参考】栃木県立足利南高校（総合学科）

平成 12 年に普通科を総合学科に改編。芸術・スポーツ系列の系列があり、この系列では、音楽・美術・書道・演劇等の創作活動やスポーツの理論・実践活動を通じて、豊かな表現能力や科学的にスポーツを実践する意欲・能力・態度の育成する。

スポーツ

スポーツ科学科 三好高校	スポーツ科学系列 知多翔洋高校
スポーツコース 海翔高校	スポーツ・健康系列 岡崎東高校
健康スポーツ系列 蒲郡高校	健康科学系列 瀬戸北総合高校

中高一貫教育の現状と課題

中高一貫教育とは、6年間の一貫した教育課程や学習環境のもとで、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指す制度で、全国の公立高校では、184校の中高一貫教育校が設置されている。

本県の県立高校では、中山間地域において連携型中高一貫教育が2地域で行われているが、中等教育学校と併設型中高一貫教育校は設置されていない。

1 全国の設置状況

H25 公立高校中高一貫教育校の設置状況

(公立全日制高校入学者数上位10都道府県と近隣の岐阜県・三重県)

	中等	併設	連携	計
北海道	1		7	8
埼玉		1		1
千葉		1	1	2
東京	6	5	6	17
神奈川	2		2	4
静岡		3	3	6
愛知			2	2
大阪			2	2
兵庫	1	1	2	4
福岡	1	2		3
岐阜			4	4
三重			3	3
全国	29	74	81	184

東京都の中等教育学校

・都立小石川(H18~)、都立桜修館(H18~)、区立九段(H18~)、都立立川国際(H20~)、都立南多摩(H21~)、都立三鷹(H22~)

【都立小石川の例】・応募資格...東京都在住

・適性検査と小学校5年と6年の学習の記録で可否を決める。

生徒間の学力差への対応や6年間を通じた系統的教育課程の編成が課題になっています。今後、入学者決定における適性検査の在り方や教育課程の特例の具体的運用、意欲や力量のある教員の確保策等について検証し、6年間を通じた計画的・継続的な教育活動を展開することにより、将来のリーダーとなり得る人材を育成します(平成24年2月 都立高校改革推進計画 第一次実施計画より)

神奈川県の連携型中高一貫教育校

- ・愛川町立3中学校と県立愛川高校(H22~)
地域の教育資源を活用した地域密着型の教育活動を展開
- ・横浜国立大学教育人間学部附属横浜中学校と県立光陵高校(H22~)
中・高・大連携による教育実践

【参考】本県での設置状況

【北設楽地区の連携型中高一貫教育】

(平成16年度~)

田口高校と地元4中学校との間で、北設楽地域全域にわたる連携を実施

田口高等学校
(普通科、林業科)

連携

設楽町立設楽中学校
設楽町立津具中学校
東栄町立東栄中学校
豊根町立豊根中学校

交流授業
部活動交流
文化的交流
ふるさと学習
キャリア教育
中高一貫
「基礎学力検査」
共同体験活動

【作手地区の連携型中高一貫教育】

(平成22年度~)

作手校舎と作手中学校との間で1対1の密度の高い連携を実施

新城東高等学校
作手校舎
(人と自然科)

連携

新城市立
作手中学

交流授業
部活動交流
芸術展覧会交流
キャリア教育
中3の学習到達度検証
農業体験学習

中高一貫教育の実施形態

中等教育学校...同一の設置者が一つの6年制の学校として運営する。
併設型中高一貫教育...同一の設置者が中学校・高等学校を併設する。
連携型中高一貫教育...市町村立中学校と都道府県立高等学校が連携する。

、実施する際の課題

- ・県立中学校を設置する必要がある。
- ・入学者選抜方法を検討する必要がある。
- ・市町村との調整を図る必要がある。

職業学科（職業教育）の現状について

公立全日制高等学校職業学科の生徒数の割合を見ると、本県は、職業学科の割合が高い。
工業科と比べて、商業科、家庭科は進学する割合が高い。
職業学科における産業別の就職者数は、製造業が54.6%。工業科以外も多くの卒業生が製造業に就職している。農業科、商業科等の卒業生は、高校での学びを生かせる職種に就職する割合が少ない。

1 公立全日制課程高校在籍者数に対する職業学科生徒数の比率（H25）

	東京	神奈川	愛知	大阪	全国
職業学科	16%	11%	24%	14%	23%

・本県は、東京、神奈川、大阪などと比べて職業学科の割合が高い。

	H12	H16	H20	H24
愛知	24.5%	24.5%	24.5%	24.0%
全国	26.0%	25.0%	24.0%	23.0%

・全国の比率は年々減少しているが本県は、およそ24%を維持している。

3 本県新規高等学校卒業生学科別の産業別就職者数（平成25年度 国・公・私立、全・定の計）
（単位：人）

区分	計	第一次産業		第二次産業			第三次産業					
		農業、林業	漁業	鉱業、土石業、砂利採取業	建設業	製造業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	医療、福祉	その他
合計	11,127	26	8	2	668	5,872	514	1,061	385	443	828	1320
普通	2,915	6	3	-	106	1,413	142	198	140	189	277	441
農業	653	18	1	-	31	357	27	40	27	55	56	41
工業	4,098	-	-	-	472	2,704	174	197	30	26	28	467
商業	2,334	2	-	1	38	946	136	500	111	107	210	283
水産	70	-	4	-	5	41	5	5	-	6	-	4
家庭	441	-	-	1	6	160	9	57	65	34	92	17
看護	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-
福祉	80	-	-	-	-	4	-	-	-	2	74	-
その他	36	-	-	-	1	18	2	1	1	1	4	8
総合	461	-	-	-	9	226	19	62	11	23	52	59

2 本県新規高等学校卒業生学科別進路状況（平成25年度 国・公・私立、全・定の計）

	卒業生数	大学等進学者 (通教育、放大学を含む)	専修学校 (専門課程進学者)	就職者数 (左記進学者のうち就職している者を含む)	一時的な 仕事に就 いた者	無業者数 (左記以外で死 亡・不詳を除く)
普通	46,067	32,422 (70.4%)	8,722 (19.0%)	2,915 (6.3%)	410	1,600
農業	1,192	141 (11.8%)	339 (28.4%)	653 (54.8%)	41	18
工業	5,703	691 (12.1%)	756 (13.3%)	4,098 (71.9%)	69	89
商業	4,839	1,048 (21.7%)	1,100 (22.7%)	2,334 (48.2%)	133	225
水産	141	35 (24.8%)	27 (19.1%)	70 (49.6%)	7	2
家庭	1,374	377 (27.4%)	485 (35.3%)	441 (32.1%)	27	44
看護	138	79 (57.2%)	24 (17.4%)	35 (25.4%)	0	0
福祉	145	39 (26.9%)	26 (17.9%)	80 (55.2%)	0	0
その他	649	458 (70.6%)	106 (16.3%)	40 (6.2%)	2	43
総合	2,455	1,263 (51.4%)	621 (25.3%)	461 (18.8%)	48	62
合計	62,695	36,553 (58.3%)	12,206 (19.5%)	11,127 (17.7%)	737	2,083

4 近年の学科改編状況等

大学科	年度	高校名	内容
農業	H21	新城	園芸科 園芸科学科 生活科学科 生物生産科 農業工学科 環境デザイン科
		作手	生活・経営科 人と自然科
工業	H24	起工業	材料科 電子機械科
商業	H21	新城	商業科 情報会計科
	H25	古知野	観光ビジネスコース
家庭	H21	桃陵	生活福祉科 ヒューマンケア科
		宝陵	商業家庭科、生活福祉科 福祉科
		新城	(生活科学科) 生活創造科
	H22	一宮	被服科 ファッション創造科
福祉	H25	宝陵	社会福祉実践コース・医療看護進学コース

5 スーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）
全国10校（H26～H28）

豊田工業高校
高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人の育成を図る。
・企業での長期インターンシップ
・工業英語
・技術者を社会人講師として招聘

総合学科の設置について

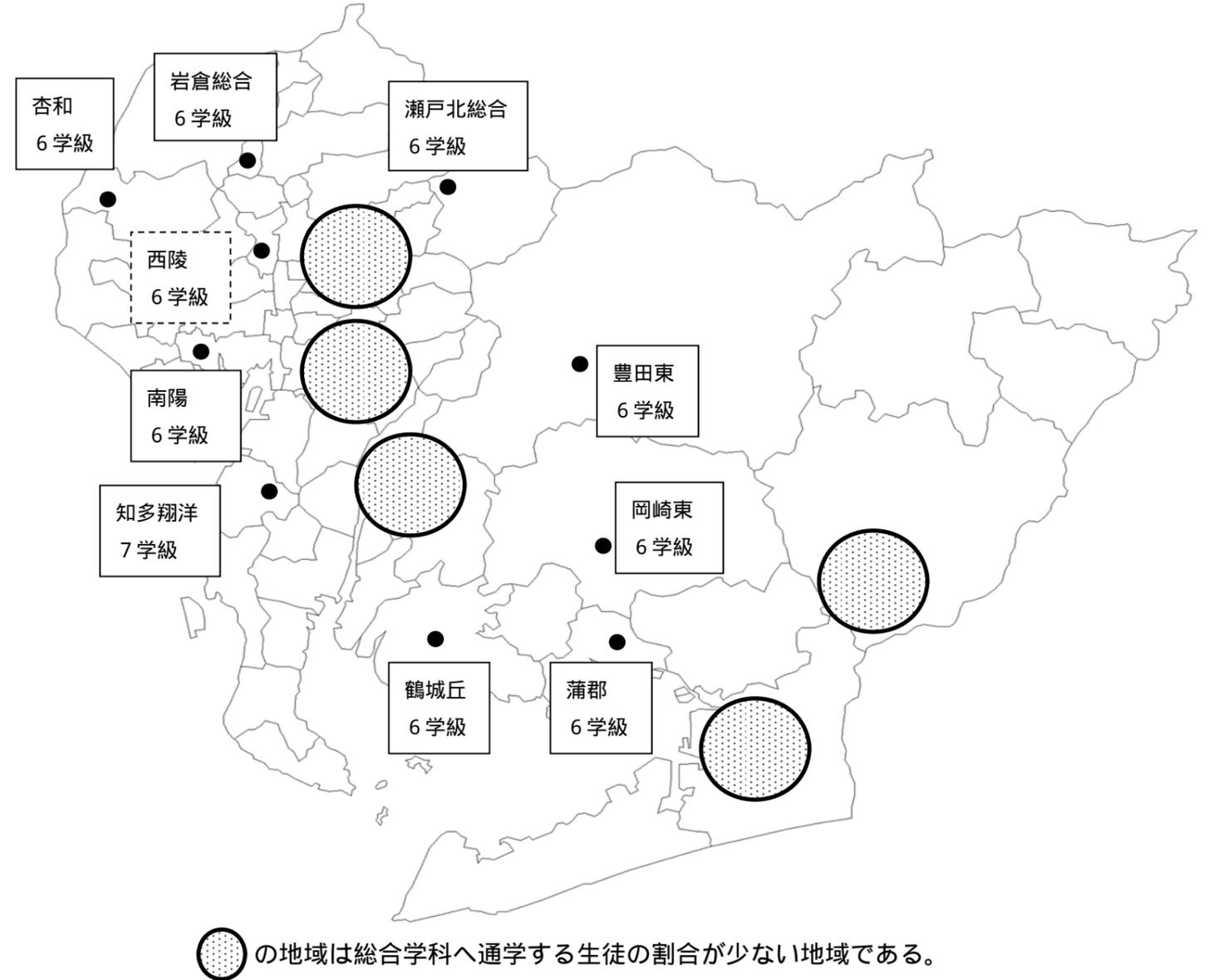
総合学科を設置している県立高等学校は9校で、名古屋市立西陵高等学校を加えると10校である。(全日制県立高等学校148校1校舎)

総合学科は、従来の普通科、職業科という枠にとらわれず、学校が幅広く総合的に選択科目群を開設し、生徒の個性を生かした主体的な選択による学習を可能にする学科で、多くの志願者を集めている。

多様な進路希望をもつ生徒の受け皿として総合学科は効果があり、総合学科へ通学する生徒の割合が少ない地域への設置を検討する必要がある。

総合学科(9校)

設置年度	学校名	系列名			
H11	岩倉総合	人間文化 流通管理	自然科学 アート・デザイン	国際ビジネス 語学コミュニケーション	情報
H15	蒲郡	人間文化 流通管理	自然科学 ビジネスコミュニケーション	国際文化	情報ビジネス 健康スポーツ
H16	鶴城丘	人文科学 メカトロニクス	自然科学 アグリサイエンス	国際ビジネス	情報システム 環境デザイン
H17	杏和	人間探究 ライフコーディネート	自然探究	国際理解 福祉サービス	ビジネス 情報活用
H17	知多翔洋	人間科学 スポーツ科学 国際ビジネス	数理科学 情報テクノロジー	異文化理解	環境科学 ライフカルチャー
H19	豊田東	人文科学 生活科学	自然科学 福祉	国際コミュニケーション 情報・ビジネス	芸術文化
H19	南陽	人文国際 ライフクリエーション 情報ビジネス	自然科学 福祉ネットワーク 総合探究	フードコーディネート	
H20	岡崎東	人文科学 ライフサポート	自然科学 情報	スポーツ・健康 環境	国際理解
H21	瀬戸北総合	人文探究 情報創造	自然探究 健康科学	国際教養 生活科学	福祉理解



総合学科と普通科の一般入学の志願倍率の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
普通科	1.88	1.91	1.93	1.98	2.03	2.03	2.00	2.00	1.98	1.99
岩倉総合	2.04	2.88	2.43	2.00	2.05	2.11	1.98	2.13	1.66	1.80
蒲郡	2.19	2.12	1.80	2.13	2.34	2.42	2.10	2.04	2.24	2.30
鶴城丘	2.47	2.25	1.84	1.82	2.11	1.99	1.93	1.79	2.21	1.98
杏和	2.70	2.04	2.84	3.08	3.38	3.88	2.72	3.05	2.39	2.53

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
知多翔洋	-	2.61	2.01	1.78	1.88	1.79	1.66	1.49	1.92	2.25
豊田東	-	-	3.25	2.22	2.91	2.63	2.40	2.28	2.21	2.13
南陽	-	-	2.16	2.11	2.34	2.17	2.28	2.66	1.46	2.23
岡崎東	-	-	-	1.89	2.52	2.66	2.26	2.60	2.51	3.00
瀬戸北総合	-	-	-	-	1.88	2.24	1.98	2.33	2.56	2.85

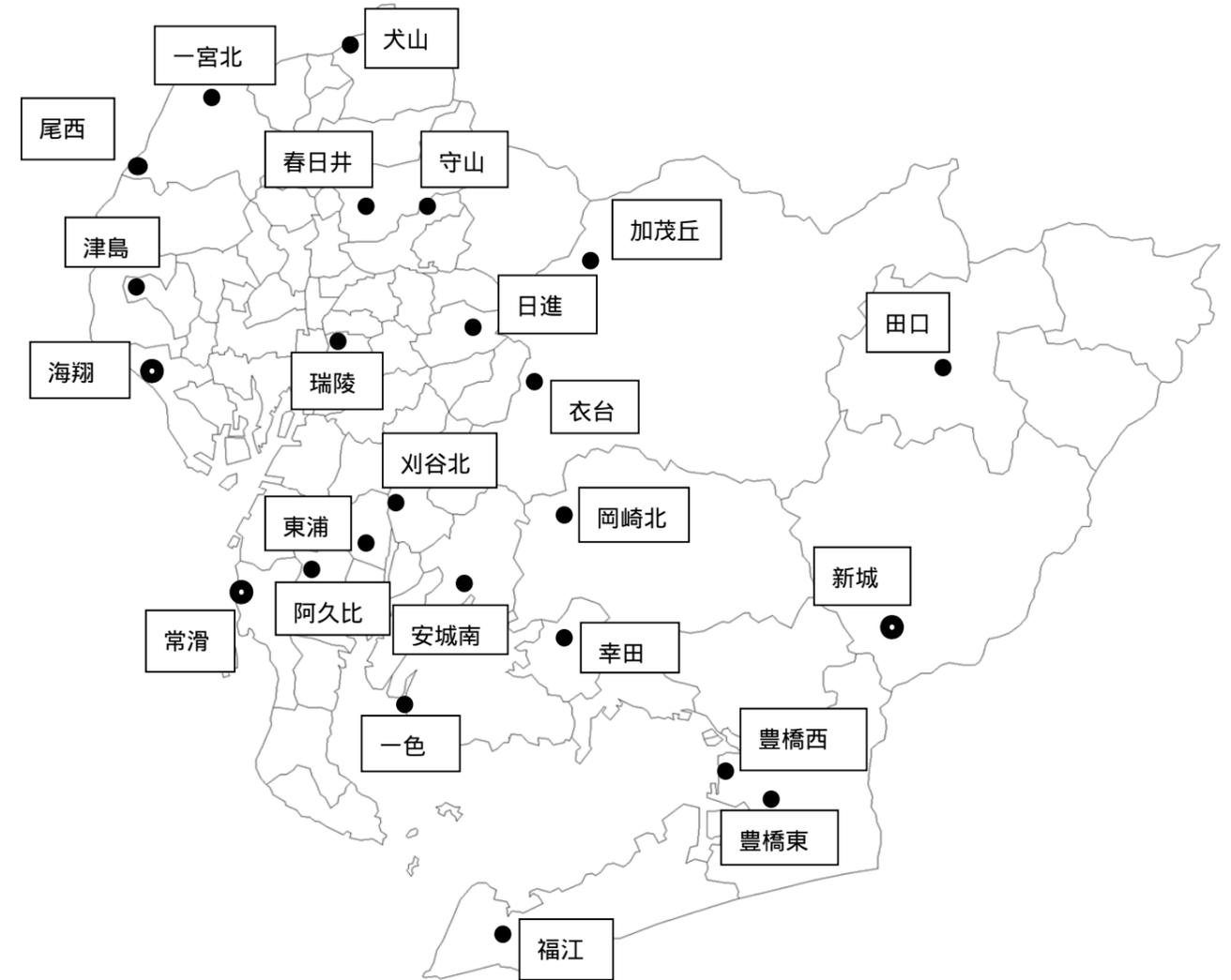
普通科のコースについて

コース制は、普通科の教育課程に専門科目等を積極的に導入することにより、生徒の多様なニーズにこたえることをねらいとする。県立高等学校 23 校の普通科に 25 コース（定員各 40 人）を、地域のバランスを考慮し設置している。

多くの志願者を集めているコースがある一方、志願者がなかなか集まっていないコースもある。生徒のニーズを踏まえ、既設のコースの改廃や新しいコースの設置を検討する必要がある。

コース制（23校25コース）

設置コース	趣 旨	開設校
情報活用	情報機器を活用した情報処理の方法などを学習し、高度情報通信社会で生活するのに役立つ力を育成する。	守山、犬山、尾西、東浦、衣台、幸田、安城南、一色、豊橋西（9校）
国際理解	我が国及び外国の歴史・文化・言語に対する理解を深め、国際社会に必要な素養を身に付けた人材を育成する。	津島、常滑、刈谷北、豊橋東
コソサイエンス	比較的高度な理科的数学的な見方・考え方を学び、将来の科学技術開発を担う人材を育成する。	瑞陵、春日井、岡崎北
福祉実践	高齢社会における福祉実践の具体的方法を学習するとともに、人を思いやる心や奉仕の精神を育成する。	一宮北、福江
国際コミュニケーション	英語の基礎学力の向上を図るとともに、国際化社会に適應できる能力を育成するとともに、国際感覚を磨く。	日進、阿久比
自然科学	自然科学の基本的な概念、原理などについての系統的な理解を深め、自然科学研究を支える人材を育成する。	加茂丘
自然探究	郷土への理解を深めるとともに、環境に関する基礎的な知識を身に付け、自然環境を保護する態度を育成する。	田口
環境	自然科学について深く学ぶとともに、データの処理・分析を通して環境についての知識も身に付ける。	海翔
人間環境	人と人を取り巻く環境とのかかわりについて理解を深め、よりよい生活を支える環境のあり方を実践的に学ぶ。	日進
スポーツ	運動の合理的な実践をとおして、体力の向上を図り、生涯にわたって継続的にスポーツに親しむ意識を育成する。	海翔



主なコースの希望者数（推薦入試＋一般入試）の推移

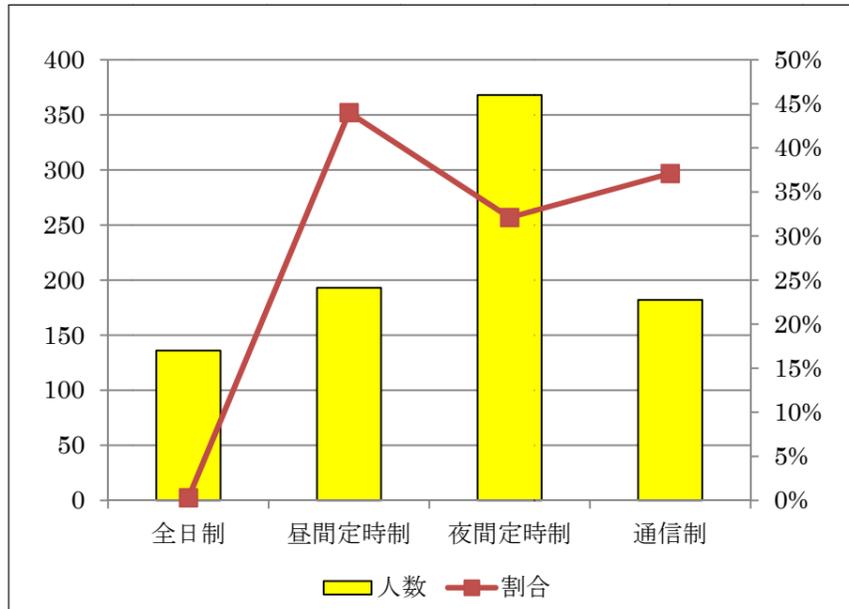
コース(定員)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
情報活用(360)	589	708	685	604	635	570	552
国際理解(160)	183	132	122	136	125	74	126
コソサイエンス(120)	218	292	217	236	245	306	294
福祉実践(80)	36	25	56	50	76	43	49
国際コミュニケーション(60)	104	65	63	61	70	47	72

コース(定員)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
自然科学(40)	-	21	6	16	8	14	7
自然探究(20)	16	9	8	8	9	1	11
環境(20)	21	19	20	22	30	21	15
人間環境(20)	20	30	21	18	28	9	20
スポーツ(20)	55	65	45	62	51	39	56

不登校生徒や外国人生徒への対応について

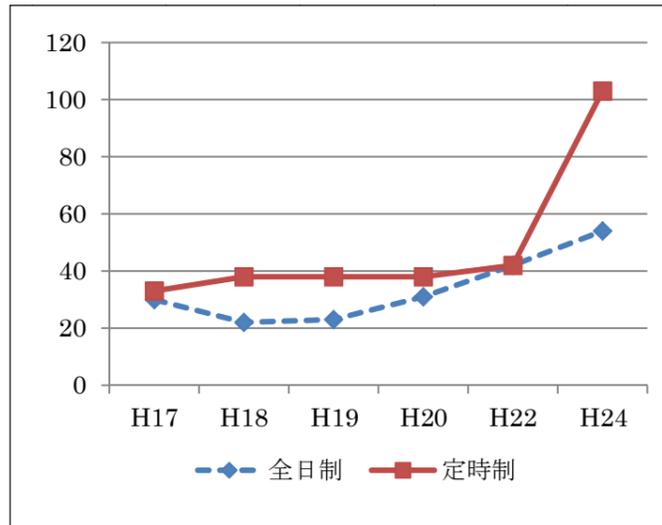
- 本県の日本語指導が必要な外国人児童生徒数は全国で最も多く、県立の定時制における日本語指導が必要な外国人生徒数は近年増加傾向にある。
- 中学3年時に30日以上欠席した生徒の占める割合が定時制・通信制で高くなっている。昼間定時制に限ると40%を超えている。
- 近年は、昼間定時制の志願倍率が、前期・後期とも高い状態が続いている。

1 中学3年時に30日以上欠席した生徒の人数と割合（H25 新入生）

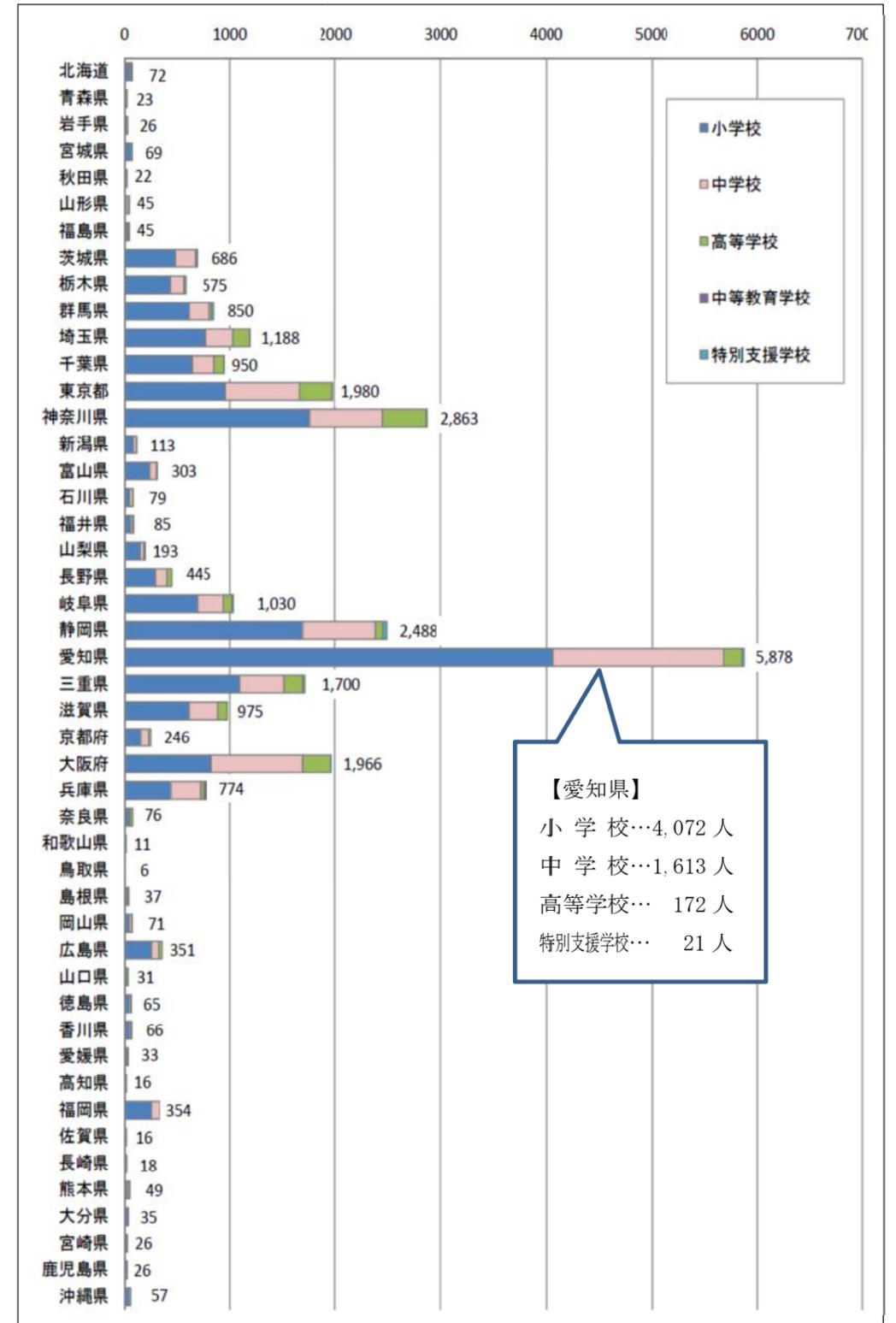


3 県立高校における日本語指導が必要な外国人生徒数

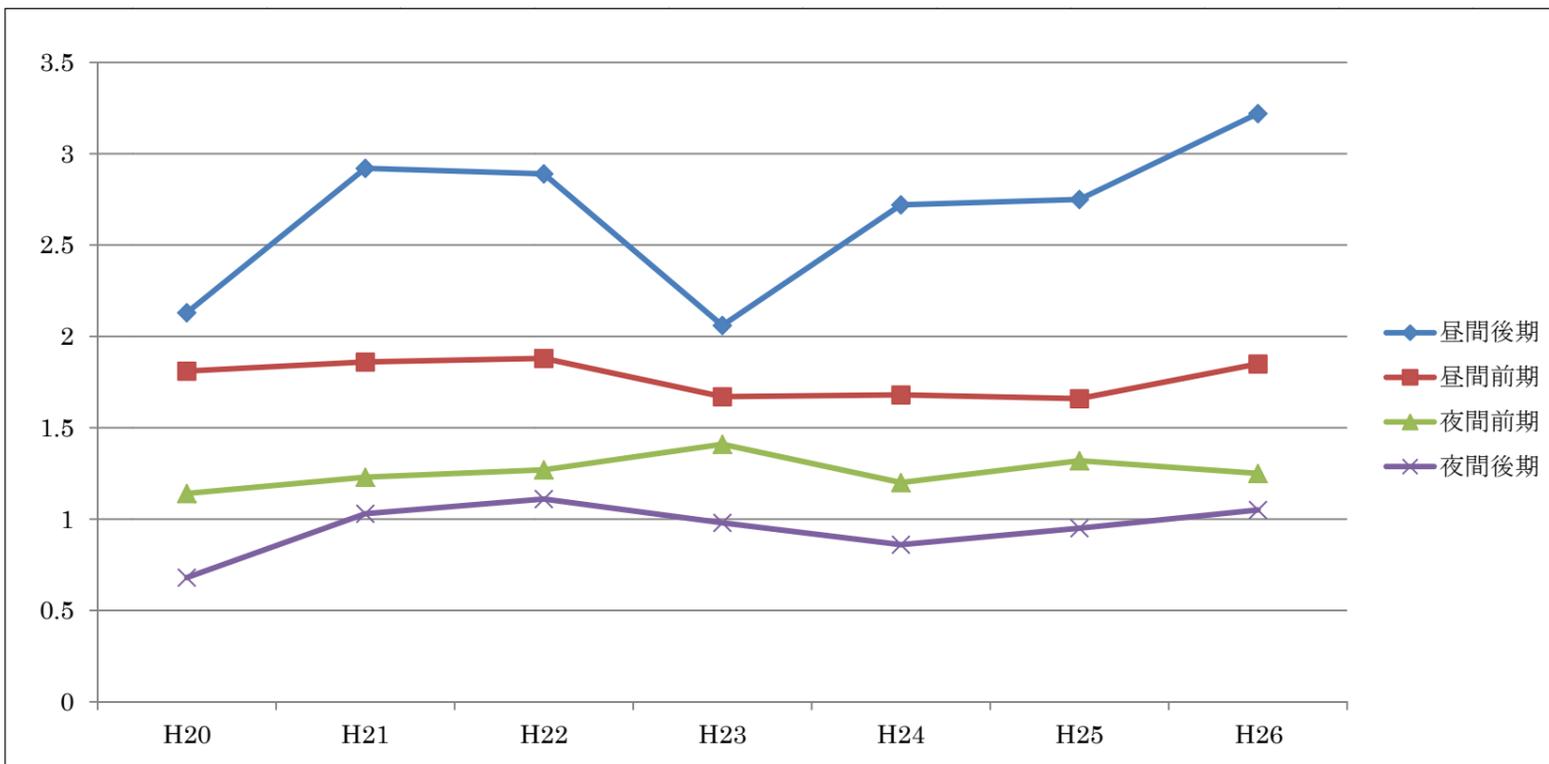
(21, 23, 25 年は調査せず) (単位: 人)



4 日本語指導が必要な外国人児童生徒の在籍状況（H24 都道府県別）（単位: 人）



2 公立定時制高校の志願倍率の推移



愛知県と他都道府県の特徴ある高校の設置状況

下記の4都道府県では、全日制普通科単位制高校が設置され、生徒は多様な選択科目から、自分の興味・関心、進路希望に応じた学習ができる。東京都や神奈川県などでは、中学校で能力を発揮できなかった生徒にやる気を出させ、少人数授業の学び直しで応援する学校を設置している。東京都や神奈川県、大阪府では、幅広い学習時間帯から多様な学びができる単位制高校を設置し、生徒のニーズに応えている。本県では平成29年度に、愛知工業高校校地にステップアップハイスクール（複数部制単位制高校）の設置を予定している。

北海道（道立高校数 207校）

区分	学校数	特色
全日制普通科単位制	25校	国語や数学などの普通教科を中心に、多様な選択科目を開設している。学年の区分がないので、生徒は、自分のペースで学習に取り組むことができる。

東京都（都立高校数 188校）

区分	学校数	特色
エンカレッジスクール	7校	小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒を応援する。学力検査によらない入学者選抜を実施する。午前中は座学、午後は体験学習・選択授業を中心に学ぶ。定期考査を実施せず、提出物や小テストなどにより評価する。
チャレンジスクール（昼夜間定時制総合学科高校）	5校	小・中学校での不登校経験や、高校を中途退学した経験がある生徒などが再チャレンジできる。学力検査によらない入学者選抜を実施する。生活スタイルや学習ペースに合わせて、各時間帯（午前・午後・夜間の3部）を選ぶ。学び直しの科目を置き、中学校の復習をしたり、ボランティア等体験的活動を通じて豊かな人間性を育てたりする。

神奈川県（県立高校数 144校）

区分	学校数	特色
クリエイティブスクール	3校	趣旨は東京都のエンカレッジスクールと同様。少人数授業を展開し、基礎的・基本的な内容の学び直しの取組を通じて、学習意欲の向上に成果をあげている。
フレキシブルスクール	3校	一人一人の生活スタイルや学習ペースに合わせて、幅広い学習時間帯から午前・午後・夜間の時間帯を選択できる単位制普通科高校（全日のみ、定時併置校、定通併置校の3種類）である。

大阪府（府立高校数 138校）

区分	学校数	特色
全日制又は定時制の単位制	6校	生徒のニーズに合わせて、多様な学び方ができる。1日8時間の全日制から6時間を選択する形態や、午前部4時間、午後部4時間のどちらかに所属して他部の授業を選択する形態もある。また、6校のうち3校には、夜間部が併置されている。

愛知県 ステップアップハイスクール（複数部制単位制高校）

愛知工業高校校地に平成29年度開設予定

昼間部の授業
普通科の科目
（午前の時間帯）

昼間部の生徒は、昼間部の授業を毎日4時間、4年間学び、基準の単位数を修得すれば卒業が認められる。
また、昼間部の授業を毎日4時間、3年間学び、共通の授業を選択して、基準の単位数を修得すれば卒業が認められる。

共通の授業
普通科とものづくり科の科目
（午後の時間帯）

夜間部の生徒は、夜間部の授業を毎日4時間、4年間学び、基準の単位数を修得すれば卒業が認められる。
また、夜間部の授業を毎日4時間、3年間学び、共通の授業を選択して、基準の単位数を修得すれば卒業が認められる。

夜間部の授業
ものづくり科の科目
（夜間の時間帯）

中学校時代不登校の生徒であっても、3年間又は4年間での卒業を目指すことができる。自分が興味・関心のある科目を選択できるため、自分のペースで学習に取り組むことができる。

ものづくり科

前身の愛知工業高校定時制課程のノウハウを生かし、多数の工業科目を設定
→実技を中心とした学びができる。

アルバイトの単位認定

→一定の条件のもと、アルバイトを単位認定し、生徒の社会性を養うことを目指す。

秋季編入学考査の実施

→不登校生徒等の中途退学者に対する学び直しの機会を提供する。